

「食に見る阪神・淡路大震災以後 30年の防災の変化」

一般財団法人 都市防災研究所 理事
日本災害食学会 副会長

守 茂昭

(2025. 12. 25)

1923年9月1日関東大震災



1995年1月17日阪神・淡路大震災

阪神・淡路大震災が起きるまでは
関東大震災時の経験が防災対策のベース



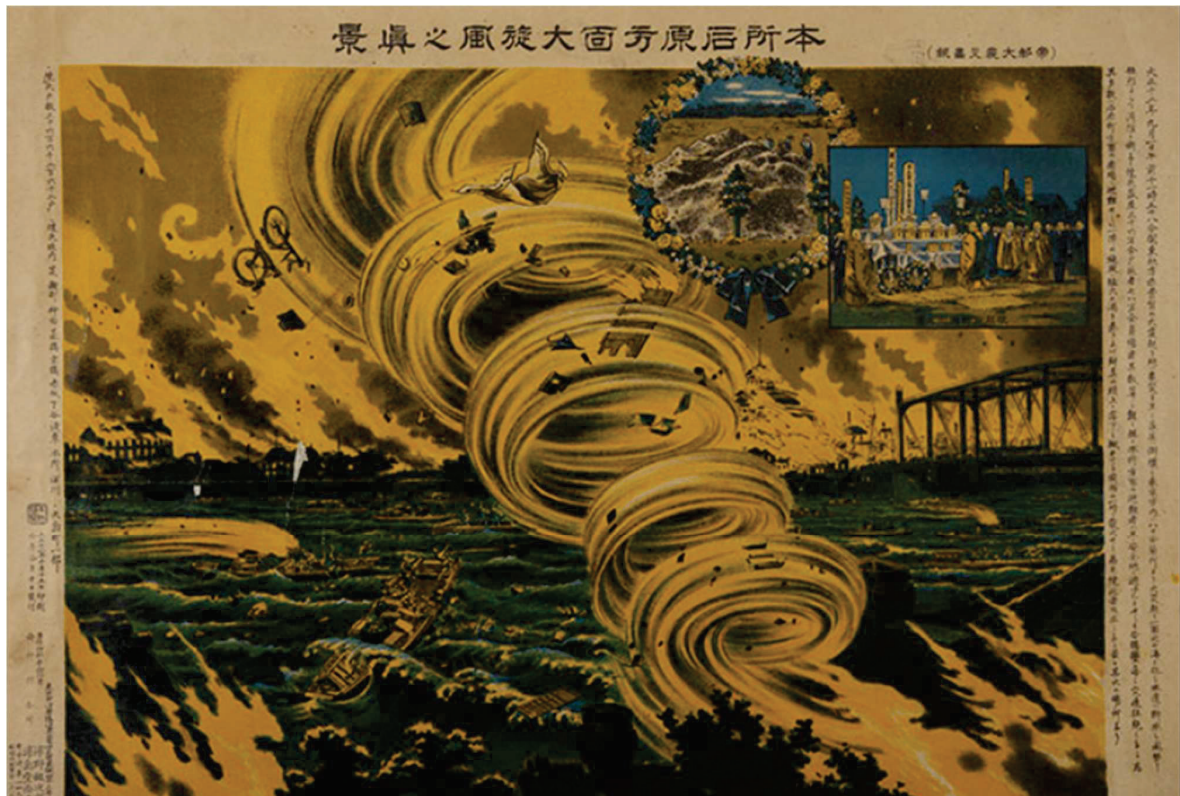
(災害の備えは大火の防止であった)

不燃化の推進
避難場所への安全な移動
消化訓練の徹底





「関東大震災 本所石原方面大旋風の真景」(復興記念館データベース)



7

大火に巻き込まれる危険

(関東大震災被服所跡地の火災旋風)



8

1995年1月17日阪神・淡路大震災以降

阪神・淡路大震災の経験が 防災対策のベース



(災害の備えは建物倒壊の防止に注視)

新耐震基準の建築物
新耐震基準の土木構造物
被災後3日間の自助・共助

9

建物倒壊に巻き込まれる危険

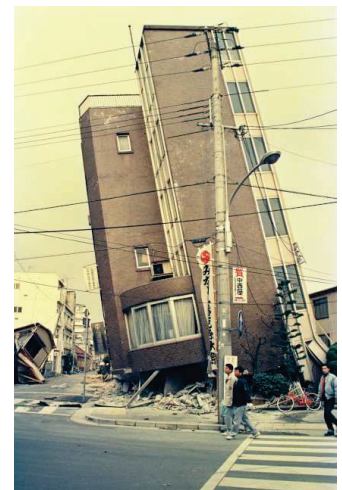
•出勤か、救助か、悩む～誰かがジャッキ、12人助ける～(神戸市 60代 男性 元市職員)

•私の家はつぶれなかったけれども、周りはほとんどつぶれました。立場を考え、出勤すべきか迷ったあげく、その日は夜まで救助活動が続け、12人助けました。

•家の下敷きになった人を助けたのですが。その助け方が難しいんですよ。上からいったら人の重みがかかって危険なので、下からもぐり込んで助けるんです。木造の建物などは、梁にジャッキをかませたりしてね。

•最初、大きなジャッキでやろうとしたけど、重たくて扱えない。そのうち、近所の誰かが小さいジャッキを持ってきてくれたので、それを使って、ちょっとずつ持ち上げていきました。車のジャッキも使いましたが安定が悪くて、案外使いづらかったんです。

•で、頭が入るぐらいの大きさまでになったら、そこからもぐっていくのですが、余震があるから、これがかなり怖いんです。私は田舎の百姓の育ちだったから、できたけど、町の人には難しいやろうね。(阪神・淡路大震災1日前プロジェクト)



大火に巻き込まれる危険

・04.延焼拡大の原因としては、古い木造家屋の密集、可燃物量の多さなどが指摘されている。家屋の倒壊・損壊という現象も、延焼拡大を助長した面があったとも指摘されている。

- ・ 01) 大規模火災へと延焼拡大した火災の多くは、古い木造家屋が密集している地域に発生していたとされる。
- ・ 02) 道路をふさいだ倒壊家屋や瓦・モルタルの落下も、延焼拡大を助長したものと考えられる。また、一部には飛び火による延焼事例もあった。
- ・ 03) 神戸市長田区では、ケミカルシューズ産業に関わる可燃物の大量存在も延焼拡大の要因のひとつであったという指摘もある。



(阪神・淡路大震災教訓情報資料集)

11

2011年3月11日東日本大震災以降

津波被災と帰宅困難者の経験が 防災対策のベース



(災害の備えは津波避難と帰宅困難者に関心が移動)

津波避難タワー
帰宅困難者一時滞在施設

12

東日本大震災時の東京駅周辺防災隣組の活動



丸ビル地下1階

東日本大震災時の東京駅周辺帰宅困難者



日比谷公園

帰宅困難の意味するもの

負傷者にとっては「治療困難」

会社の責任者にとっては「出勤困難」

児童の親にとっては「子探し困難」

薬局では「処方困難」

輸送業には「訪問困難」

マンションでは「昇降困難」

今日的な被災のドラマの多くが「帰宅困難」に
象徴される。

実行性のある各論の整備

自社の被災対応を整えたうえで、外部来訪者の被災対応を可能な限り準備する。



一時滞在施設^(※)としての機能が
重要になる

※大規模災害の発生時に帰宅困難者を一時的に受け入れる施設

(東京都帰宅困難者対策条例第十二条)

住民に対する対応



避難所

外来者に対する対応



一時滞在施設

◎従来の備蓄と今日の備蓄

備蓄の歴史

時代区分	備蓄の記録
弥生時代	高床式倉庫の遺跡上の痕跡
(律令制～戦国時代)	義倉の設置(律令制時代) 戦国時代(備蓄の記録について痕跡は少ない)
江戸後半～明治・大正・昭和初期	多数の社倉・郷倉(ごうくら)
(戦後～高度成長期)	備蓄の記録について痕跡は少ない
東日本大震災以降	備蓄への関心

戦国時代の備蓄

➡ 他人任せ

高度成長期の備蓄

➡ 役所任せ
世話役任せ

江戸時代「郷倉」の考え方

かつて、地域住民や自治体が穀物を出しあって緊急時の食料を貯めた「社倉(しゃそう)」や「郷倉(ごうそう、ごうくら)」という貯蔵倉の制度があった。

「在来作物を受け継ぐ人々—種子(たね)は万人のもの」

増田昭子氏

(参考: 佐渡島では江戸時代、240村に96の郷倉があった。
: 佐渡市役所世界遺産推進課資料)

(参考: 群馬県片品村では、文化8年(1811年)に、村内各
大字ごとに郷倉が造られることになった。

: 片品村役場資料)

21



群馬県利根郡片品村



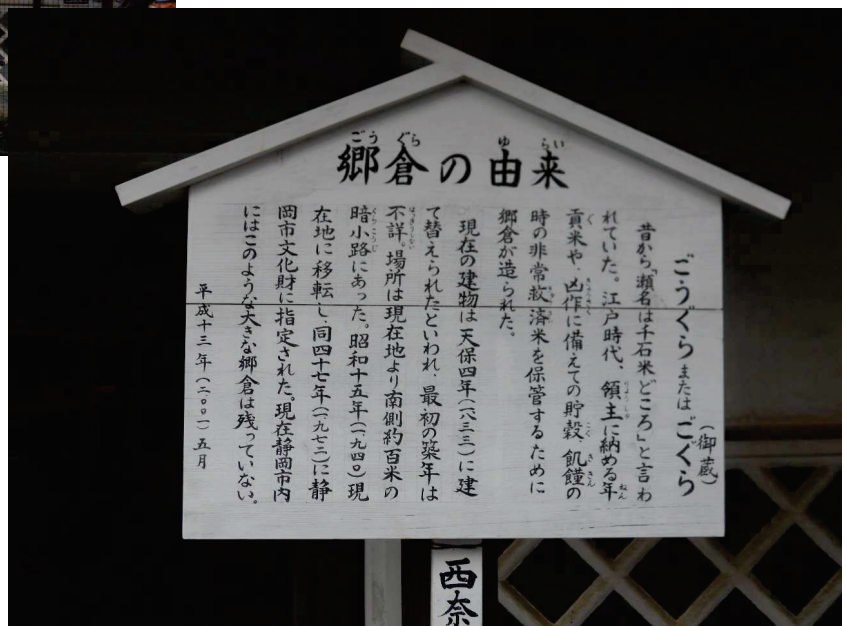
飛騨民族村



山形県北村山郡大石田町



静岡市葵区瀬名





宮城県亘理町逢隈鷺屋地区の「いぐね」



江戸の炊き出し

江戸では大なり小なり火事が頻発した。焼け出された人々の食事が即座に問題になる。・・・復興の過程で続々と生まれたのが外食産業であった。・・・文化元年の調査では、江戸市中全体で6165軒もの食べ物屋が存在したことがわかっている。それが大火後の文化七年には7663軒にまで増えた・・・一町内に半分の余は喰い物屋・・・といわれるほどすごい状況になった。

(青木美智男、「日本文化の原型」、日本の歴史－近世庶民文化、別巻、小学館、2009年6月)

江戸料理

鯉出し・醤油出し	鰻蒲焼（江戸割き）
関東風おでん	穴子
江戸蕎麦	どじょう
天ぷら	すき焼き
握り寿司	味噌田楽
海苔巻き（細巻）	桜鍋
軍艦巻き	葱鮪鍋
刺身	

江戸料理

鯉出し・醤油出し

関東風おでん

江戸蕎麦

天ぷら

握り寿司

海苔巻き（細巻）

軍艦巻き

刺身



江戸料理

鰻蒲焼（江戸割き）

穴子

どじょう

すき焼き

味噌田楽

桜鍋

葱鮪鍋

文政11年（1828年）には、藩主伊達斉邦の命で、領内の村々に「困穀」を建て、「百姓誰々も」が粃や食料品を持ち寄り「凶荒の備」とすべし、との通達が出された。・・・**藩側は財政面の課題、さらに広域な所領で、村ごとにきめ細く対応することの限界を認識**していたと考えられる。そこで、藩主の命令という形で地域側の動向を後押しした。・・・**地域側の力量を評価し、信頼して公共主体として位置付ける「協働」の考えに基づくものだった**とも評価できよう。

（佐藤大介、「災害対策をめぐる「協働」と「公共」」～天明飢饉後の仙台藩領における備荒貯蓄対策から～、人民の歴史学、第201号、2014年9月）

義倉は天保8年正月「窮民御救永代御備銀趣法」を立ち上げることとした。この趣法は、寺社修復料や医学修行料・旧家御救料など**7件の事業を休止**とし、その合計金銀額9貫547匁に、藩からの御下げ銀7貫目を加えた16貫547匁を**5年間積み立てて利殖をはかる**というものである。・・・大災害・凶作に際して、義倉田小作人や領内の窮民救済にこの「御備銀」が支出されることになる。

（中山富広、
「義倉の救恤活動と米穀調達」,広島大学大学院文学科論集、第66巻）

権力と義倉の関係・・・近世において、福山藩と（義倉）の関係は、債権保護や小作地管理の面で積極的意味を持っていた。近代では、**廃藩置県後も「保護」を受けたが、経営面における「村役人共」の関わり方は大きく 変化していった。**経営的バックアップを権力から受けられなくなった点が、近代の意義である。

（平下義記
「近世近代移行期の「家」 結合体—福山義倉を事例に—」,2015.7.15)

文政10年（1827年）、町奉行橋本五郎左衛門のところへ久保田町・那波三郎右衛門が訪問した。橋本が、育子（育児）の備えについて尋ねたところ、那波は**自身が若年のころ困窮した経験から窮民の施行について備えたいとの願望がある**という。それを聞いた橋本は、育子と窮民は同じ意味であるとして、10年以内にそれを実現させたいという那波の**願いを受け入れた**。・・・文政12年から翌年までの間に「同志」が72人、献金が1000両と銀10貫目が集まった。・・・これをもって感恩講が成立した。・・・秋田藩は感恩講の設立当初からその運営に物資や「恩賞」を与えるという形で参入しようとしていた意識が読み取れる。・・・感恩講は、・・・物資や名誉の形としての「恩賞」は受け入れても、「勤労」に対する「恩賞」などは徹底して拒否していた。・・・この行動は、**感恩講が、町人（ここでは資金提供者である町人）の主導で運営するものである、という強い意志**が表れたものであるといえよう。・・・感恩講は人々の「人望」を失うことを何よりも恐れていたのではあるまいか。

（塩谷朋子 「秋田藩城下町久保田における感恩講成立に関する一考察」、『法政大学大学院紀要』65 2010年）

・ ・ ・ ・ ・ 保科正之の ・ ・ ・ 会津藩の「社倉法」は、あらかじめ穀物を蓄え置いて凶年のときに困窮する民に貸出しをする制度である。そのために「領内1万石の地毎に倉を造り、五斗入りの粃」を蓄えていくのである。 ・ ・ ・ ・ ・ 「公権力による半ば強制的な働きかけ」であっても、村役人達が村のために精励する姿や、「経済力のある百姓も共同体への富の還元を忘れない状態」や、「村の農民どうしの合力的な結合関係も見逃してはならない」 ・ ・ ・ ・ やがては、村人の自治的な運営の基に展開される社倉や郷倉になっていく。 ・ ・ ・ ・ 近世後期には社倉の主体が本来の自治的な様相を呈してくるという。「共同体的な貯穀（すなわち農民の抛出）に立脚しながら、領主側からも“下げ粃”などといって備穀の一部を提供することによって、公権力が介入してくる 半官半民の姿」が特徴的になるという。 ・ ・ ・ ・ ・
 （増田昭子 「在来作物を受け継ぐ人々」）

・ ・ ・ 負うた子も一人前の配分にあずかる習俗 ・ ・ ・ 年齢や性別に関係なく行う人の頭数を対象にした「人頭による配分」 ・ ・ ・ この配分法は古くからある慣習で ・ ・ ・ ・ 地引網漁などで多くの人手が必要なときに ・ ・ ・ 孫を背負い、もう一人の幼児の手を引いて、浜の現場に行けば3人分魚がもらえた。 ・ ・ ・ ・ ・ 積み重ねられた時の流れのうちに、このような 赤子まで人格的に食糧の分け前が当然とされていた施策があったことに驚くのである。 生きとし生けるもの「みなが食う」ことのために行われた公の論理といえるだろう。 ・ ・ ・ ・ ・
 （増田昭子 「在来作物を受け継ぐ人々」）

江戸～明治の「郷倉」

取り決め等による地域住民の緊密な運営



管理・メンテナンスの担当に地域が責任を持っていた。



「作りっぱなし」、「しまいっぱなし」がない

39

キメが粗い被災時の食対応

40

災害時の栄養・食生活支援に対する 自治体の準備状況等に関する全国調査 ～地域防災計画と備蓄について～

地域防災計画等に「家庭における水や食料の備蓄に関すること」や「行政として備蓄する水や食料に関すること」が示されている自治体は、それぞれ71.1%、84.6%であった。

地域防災計画等に示されている通りに備蓄している自治体は18.9%で、満たしていない理由は「予算がない」が最も多く、67.5%であった。

管理栄養士・栄養士が援助食料の分配に関与する体制となっている自治体は6.1%であり、東日本大震災の際、被災地に栄養士が派遣された自治体で、その業務が専門的でない一般業務にとどまったところが**28.2%**であった。

自治体における備蓄の整備を進めるとともに、家庭における備蓄等、災害に備えた自助努力を促していくことも必要である。また、管理栄養士・栄養士が専門性を発揮できる体制づくりが求められる。

(日本栄養士会雑誌 第58巻第7号2015年、山田佳奈実、須藤紀子、笠岡(坪山)宜代、山村浩二、山下雅世、山本真由美、下浦佳之、小松龍史)

災害時の栄養・食生活支援に対する 自治体の準備状況等に関する全国調査 ～地域防災計画と備蓄について～

貢献をする側とされる側の ピンポイント・マッチングの難しさ

防災訓練の現場で本当に起きた意見対立

炊き出しのオニギリに梅干しを入れるか入れないか



管理側（頭の中の項目整理が優先）
梅干しまで準備していただけるか……

被災者側（全体の段取りより目前が大事）
結局は雑用の中で梅干しも入れてしまうものだ……



21世紀版「郷倉」

緊密な運営を行う地域の担い手はいるか？

消防署員約16万人
消防団員約86万人
警察約29万人
自衛隊約24万人

約150万人

人口1億3千万の
1%強

（平成26年現在、内閣府防災基本計画添付資料）

基本自治体防災担当者：約8千人

防災士：約10万人（資格発給数）

栄養士：約80万人（資格発給数）

（平成26年現在、日本防災士会、日本栄養士会資料）

21世紀版「郷倉」(個人消費編)

個人の消費備蓄にあってはローリングストック法で実現できる。



自宅備蓄庫に、食材を貯めつつ、適宜消費していく方法。

45

21世紀版「郷倉」(社会消費編)

流通在庫に関しては、賞味期限の三分の二を過ぎた商品は破棄され、食品ロスの源になっている。



この部分の商品を21世紀版「郷倉」とする方法が望まれる。
同じ破棄される食材であっても、破棄されるまでの短い間、地震被災の被害軽減役を担保するものとなる。

例

篤志企業が、社員に提供できる商品を引き取る
フードバンクが、提供者に供給できる商品を引き取る

46

従来の非常食

||
遭難者が命を繋ぐ食材



普通の市民が復旧までの長い月日に食するには不向き

防災「定食」

非常時の大混乱であっても、復旧期は日常時に近い生活をしなければ長丁場は持たない



防災行政のレビュー

東京都地域防災計画(令和5年版)より抜粋

東京都の災害備蓄の管理分担

機関名	対策内容
都本部	○ 国・他道府県等との連絡調整 ○ あらかじめ協力依頼している物販事業者（小売事業者等）に物資の調達を要請
都生活文化スポーツ局	○ 東京都生活協同組合連合会から応急生活物資を調達
都福祉保健局	○ 状況により、関係局等に調達を依頼し、直ちに所要量を確保するとともに、都本部を通じて国・他道府県等へ応援を要請
都産業労働局	○ 米穀、副食品及び調味料を調達
都中央卸売市場	○ 生鮮食料品を調達
区市町村	○ 必要な物資の調達計画を策定 ○ 状況により、物資の調達を都福祉保健局に要請 ○ 現地調達が適当な場合は、現地調達する。
農林水産省 農産局 貿易業務課	○ 都からの米穀の放出要請に対応する。
関東農政局	○ 都からの生鮮食料品の出荷要請に対応する。
関東経済産業局	○ 生活必需品、復旧資材等防災関係物資の円滑なを行う。

表 1 主食の備蓄状況（平成24年 4 月 1 日現在）

品目	都	区	市町村	合計
クッキー類	79	548	116	743
アルファ化米	106	572	199	877
即席めん	120			120
その他		199	44	233
合計	305	1,319	359	1,973

東京都地域防災計画（平成24年版） 単位：万食

表 2 主食の備蓄状況（平成26年 4 月 1 日現在）

品目	都	区	市町村	合計
クッキー類	70	444	116	630
アルファ化米	144	402	203	749
即席めん	120	2		122
その他		155	47	202
合計	334	1,003	366	1,703

東京都地域防災計画（平成26年修正版） 単位：万食

表 3 主食の備蓄状況

(都：平成31年 4 月 1 日現在)
(区：平成30年 4 月 1 日現在)

品目	都	区	市町村	合計
クッキー類	236	517	173	926
アルファ化米	496	669	378	1,542
即席めん	220			220
その他		165	56	221
合計	951	1,351	607	2,909

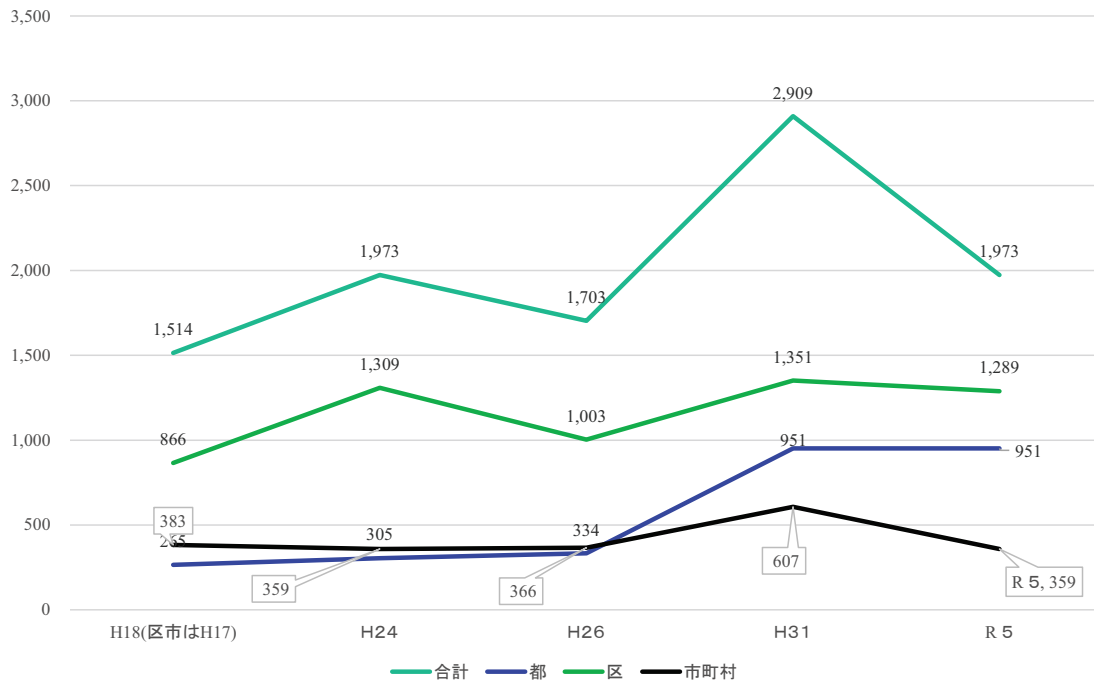
東京都地域防災計画（令和元年修正版）単位：万食

表 4 主食の備蓄状況（令和 5 年 4 月 1 日現在）

品目	都	区	市町村	合計
クッキー類	343	485	128	956
アルファ化米	388	433	373	1194
即席めん	220			220
その他		271	77	348
合計	951	1,289	359	1,973

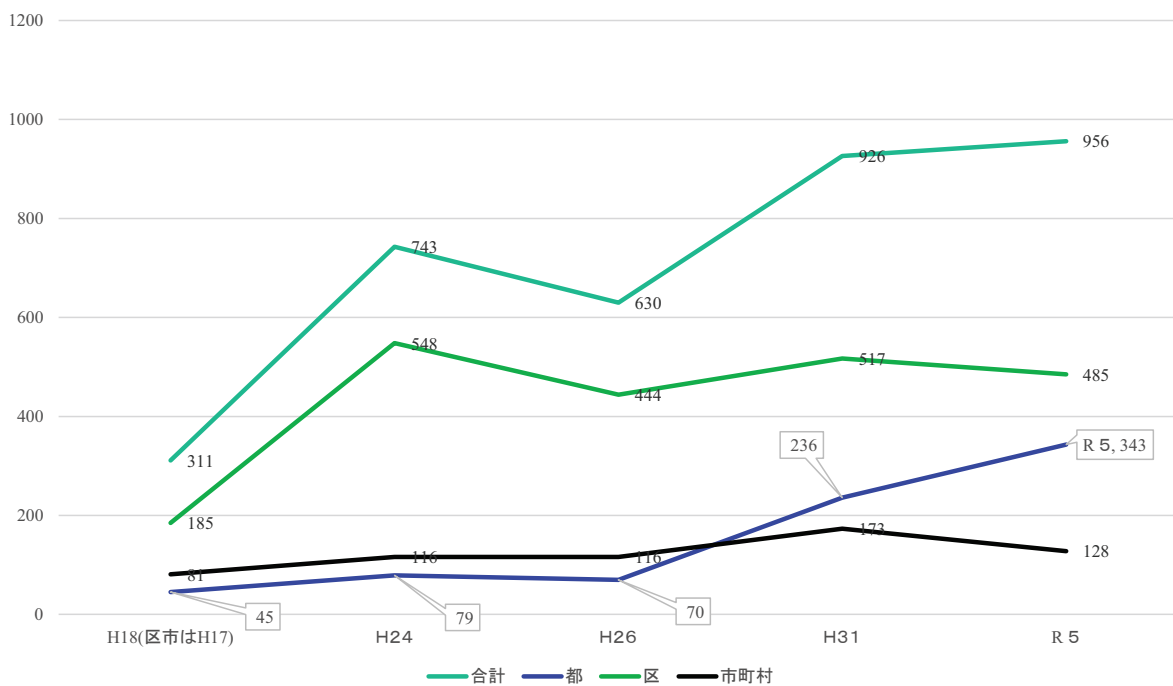
東京都地域防災計画（令和 5 年版）単位：万食

合計備蓄量の変遷(万食)



55

クラッカー類備蓄量の変遷(万食)



56

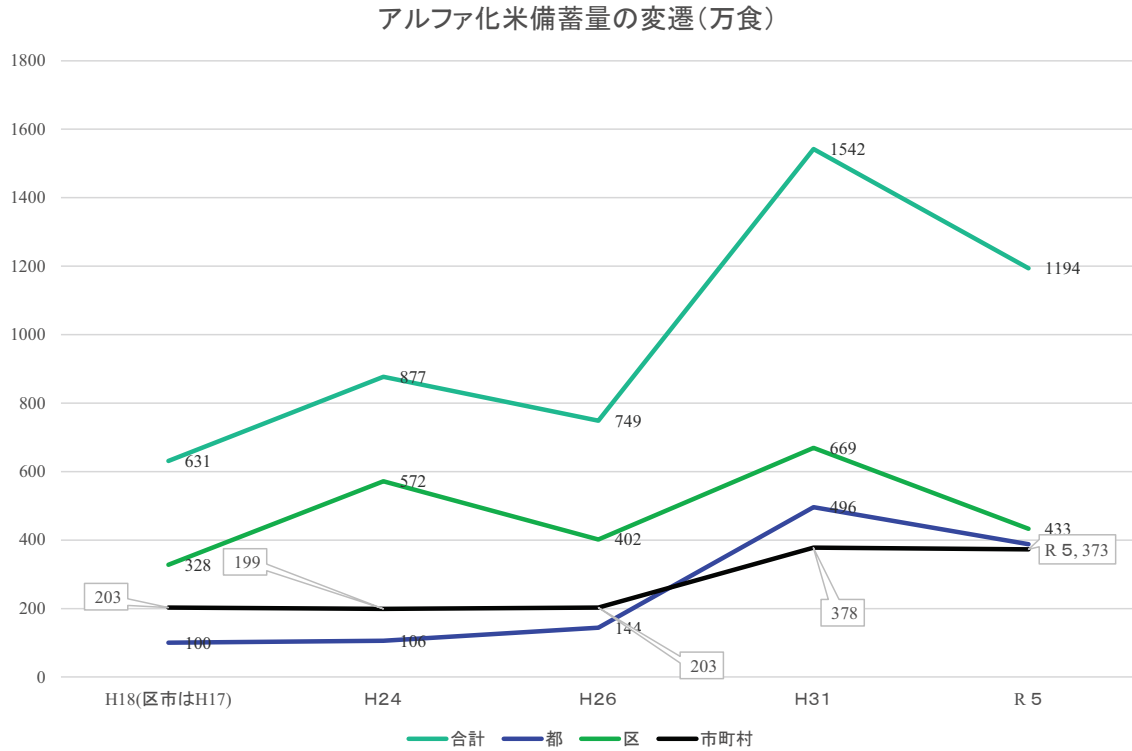


表 2 東京都の夜間・昼間人口

東京都夜間人口	14,047,594
東京都昼間人口	16,315,279
東京都区部夜間人口	9,733,276
東京都区部昼間人口	12,346,348

令和 2 年国勢調査より

不足しがちの災害備蓄

59

1,973万食を起点として考える災害食



不足分は協定による民間備蓄の供出による。



それでも不足する分は自助・共助による。



住民と帰宅困難者の食料は自宅か会社にストックしておくのが現実的である。

60

無停電冷蔵庫の可能性

61

普通食備蓄の現状

備蓄場所	量
家庭	約9食(3日分)／一人当たり
公共倉庫	約1食／一人当たり
協定による備蓄	約1食／一人当たり

(一般アンケートに見る「食」の貯蔵状況について、
地域安全学会梗概集 No.41, 2017. 11)

流通が完全に寸断するなら、首都は5日目から
飢餓状態へ突入する。

62

リチウム電池の発達

吉野彰先生が令和元年に授賞するに至ったノーベル化学賞はリチウムイオン電池でした。

リチウムは、原子番号3の元素であるため、放電しやすい反面、それは発火しやすい、という危険を合わせて持っていました。

韓国の携帯電話に使われていたリチウム電池が発火する事件が数年前に起きたことをご記憶の方もいると思います。

最近、この発火しやすさが克服されつつあり、下記、サイトのように家庭用非常用電源にリチウム電池を付けて売り出すハウスメーカーも登場しています。

<https://www.daiwahouse.co.jp/jutaku/smart/original/battery.html>

こういった技術革新は、災害時の非常用電源の在り方を今後大きく変えていくでありましょう。なぜならジーゼル発電による非常用電源も悪くはないのですが、操作を覚える手間、維持管理の手間は蓄電池に及ばないからです。

63

リチウム電池の発達

「ためる」リチウムイオン蓄電池

停電時の非常用電源として頼もしい存在のリチウムイオン蓄電池。
普段は、おトクな夜間の電力を蓄えて電力単価の高い時間帯に使うことで、光熱費を抑えるのに力を発揮します。

蓄電容量6.2kwh



カラー: BE



カラー: GM



2.5kwh 蓄電池

コンパクトな設計の中で、
停電時に必要な電力を確保。



64

例えば 12V 8A 1000KWの機種
小型冷蔵庫28時間稼働可能



大容量ポータブル電源 APS100（SUNGZU社製）

被災後の物資調達

①備蓄に頼る・・・・・・・・備蓄倉庫の充実

②臨時の調達を行う

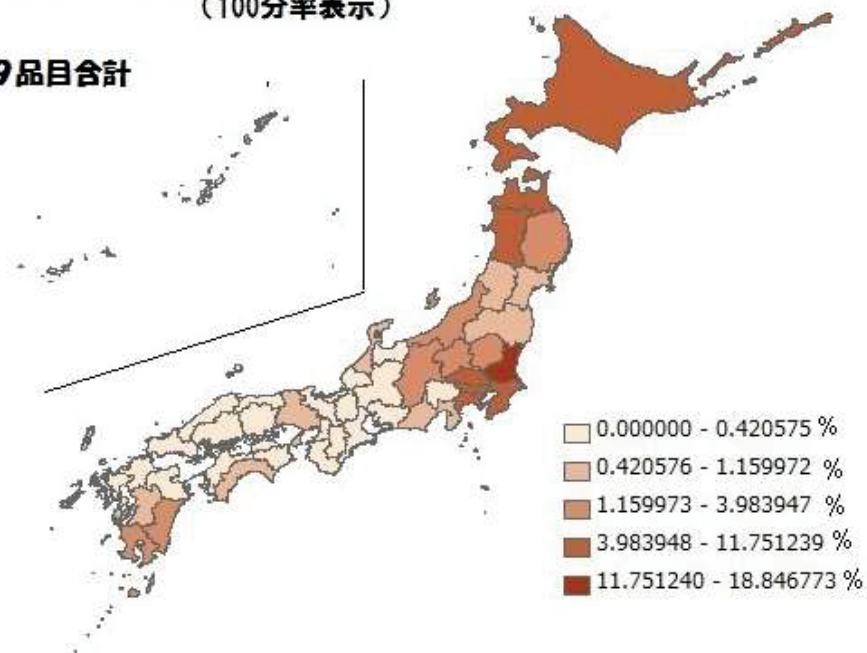
- ・買い出し型・・・・・・・・搬送車等の装備
- ・疎開型・・・・・・・・疎開先の確保

平常時の食料流通路

「平成22年度国土交通省全国貨物純流動調査（物流センサス）
表IV-2 都道府県間流動量（品目別） -重量-」より

東京都への食料供給の県別割合
（100分率表示）

9品目合計



67

被災後の備蓄の活用

すべての地域が最悪シナリオを想定した
物資の貯蔵をすることは不可能。



最も被害の激しい地区で物資の払底が必ず起きる。



備蓄は臨時の調達手段を合わせて準備する必要がある。

新潟県泉田元知事の非公式意見

新潟県が首都圏大震災に対して行う救援

「往路のトラックで物資を運び、復路のトラックで市民を運ぶ」

21世紀版「郷倉」(個人編)

個人の備蓄にあってはローリングストック法で実現できる。



自宅備蓄庫に、食材を貯めつつ、適宜消費していく方法。

福生市防災食育センターの開設 (2017年9月1日)



鳥越 裕之(とりこし ひろゆき) 氏

初代福生市防災食育センター長

阪神・淡路大震災 福生市からのボランティアとして復旧作業に参加

被災地の給食施設を炊き出しに使おうとして「許可」の壁にぶつかり断念。

福生市に帰任後、防災畑と教育畑をそれぞれ経験する。

2017年に、被災時に住民避難所と炊き出しセンターとして機能する想定「福生市防災食育センター」を設立させる。

防災施設として給食センターを機能させようとする、「防災施設の所管は防災課」、「給食センターの所管は教育委員会」という縦割りの壁が生まれる。鳥越氏は、両組織の調整に成功し、防災機能を兼ね備えた耐震給食センターの設立に漕ぎつける。

福生市防災食育センターの開設

平常時：

市内の10の小中学校の給食を生産・配給

通常給食棟 最大1日4500食

食物アレルギー給食棟 最大1日100食（7大アレルゲンに対応）

災害時：

市内の避難生活者約1万5千人に対し、1人1日1回おにぎり2個と温かい汁物を支給（被災後4日目以降）

避難所として約310名を受け入れ、帰宅困難者の一時滞在場所にもなる。防災広場に救護テント、簡易トイレを設置。

支援物資、応援部隊を受け入れ

備蓄機能

避難所開設用の毛布等、防災備蓄品を備蓄

応急給食用の米4500kg、汁物用の乾燥具材45000食分を備蓄

⇒循環地域備蓄

福生市防災食育センターの開設

総工費：30億円

まちづくり構想策定支援事業及びまちづくり支援事業（防衛省）

同事業における類似の計画

- 鹿児島県喜界町「防災食育センター」、2017年5月1日 開設
- 福岡県遠賀町「食育交流・防災センター」、2016年9月 開設
- 北海道白老町「しらおい食育防災センター」、2015年4月 開設

施工期間：平成27年～平成29年

連続炊飯器 ライスフレンド

大量のご飯を美味しく炊飯、災害時にも炊飯対応

ガス式
連続炊飯機

ライスフレンド

連続炊飯

炊飯専用釜（精米7kg炊）
熱伝導効率のよい肉厚のアルミ精物製
専用炊飯釜。釜の内側はテフロン加工を
施し、ご飯離れがよくお手入れも簡単。

おにぎり成形機 + 包装機

人手をかけずに成形 + 包装、災害時の炊き出しに対応

おにぎり成形機 + 包装機

災害対策

おにぎり成形機 + 包装機



福生市防災食育センターの開設



福生市防災食育センターの開設



福生市防災食育センターの開設



防衛施設周辺まちづくり計画事業補助金における事業の延伸

- 精華町防災食育センター(令和5年9月)
- 北広島市防災食育センター(令和6年6月)
- むつ市防災食育センター(令和7年3月)
- 武蔵村山市防災食育センター(令和7年4月)
- 西海市防災食育センター(令和8年予定)

●精華町防災食育センター(令和5年9月)

システム :ドライシステム

調理能力 1,550食/日

提供校 中学校3校

輸送 応急給食配送車3台

コンテナ 食器用5台 食缶用5台 計10台

使用食器 PEN樹脂(ポリエチレンナフタート)食器 4種類

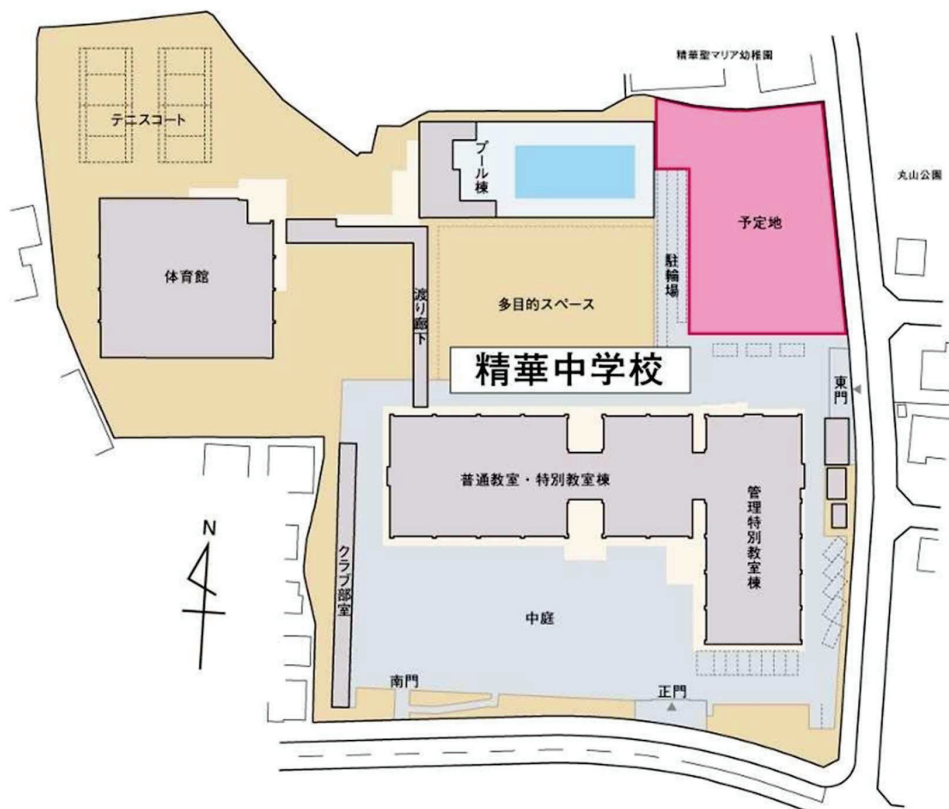
給食内容

調理品目 1献立制 食物アレルギー対応調理

調理食数 約1,100食(中学校3校)

83

精華町防災食育センター(敷地平面図)



84

●北広島市防災食育センター(令和6年6月)

調理能力:災害時の炊き出し約8,000食を1日1回、3日間分
(平常時は小学校給食約3,000食)
1時間当たり4,800個のおにぎりを製造



85

北広島市防災食育センター(搬送口)



86

●むつ市防災食育センター(令和7年3月)

1日に最大3500食分の給食を調理

災害時には1日に最大で9000食分のおにぎりや汁物を
3日間供給

総事業費34億円余り



87

むつ市防災食育センター立地場所(旧関根中学校跡地)



88

●武蔵村山市防災食育センター(令和7年4月)

調理能力は、平常時最大6,000食/日、災害時60,000食(3日間)



89

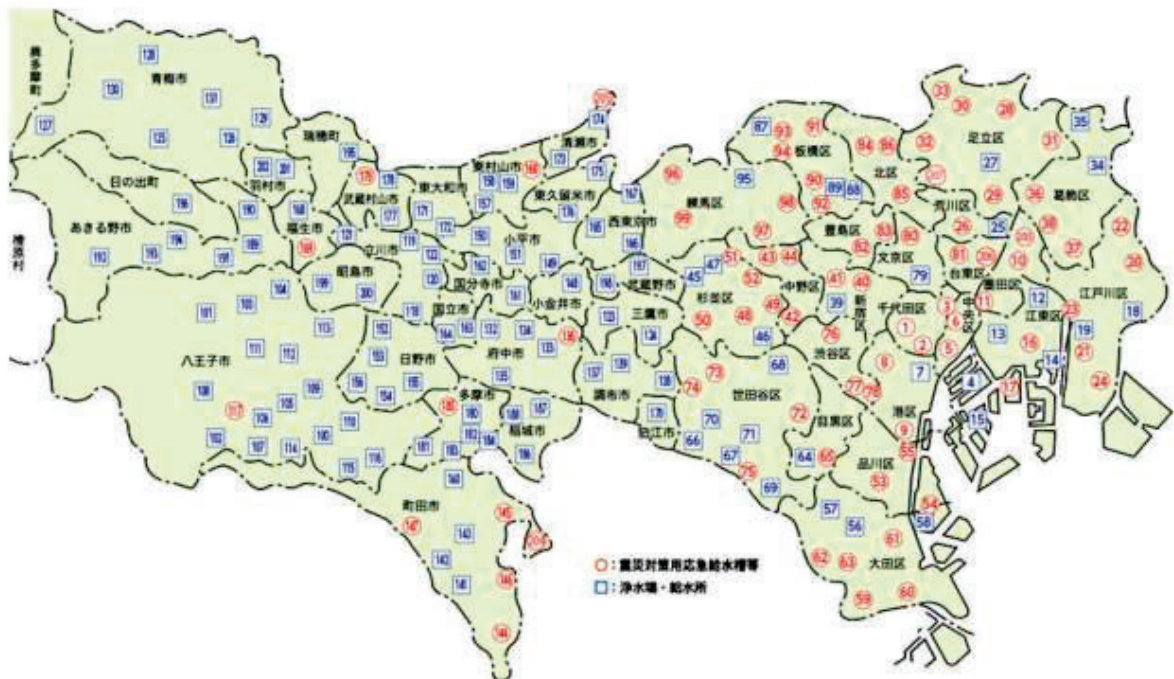


90

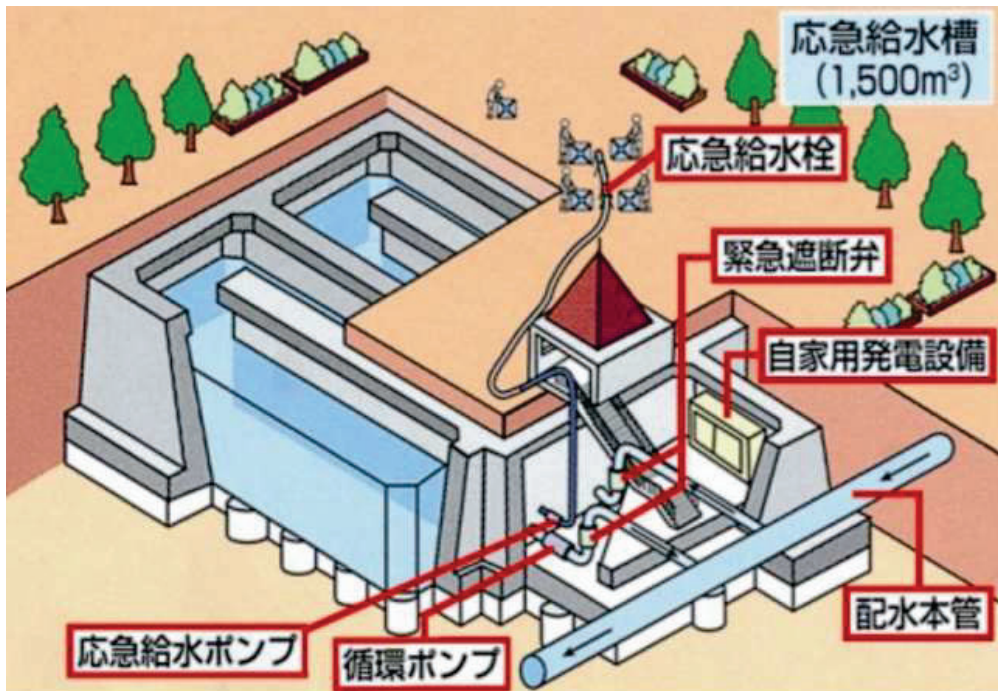
水の備蓄

91

東京都災害時給水ステーション



応急給水層の仕組み



港区 芝給水所

芝公園三丁目6番7号

災害時給水ステーション（給水拠点）アクセスマップ
しばきゅうすいじょ
芝給水所
港区芝公園3-6-7

左のマークが目印です。
お越しの際は、ポリタンク
やペットボトルなど水を入れる
容器をお持ちください。

1 神谷駅3番出口を出て、交差点の横断歩道を渡った先で左折します。

2 芝学館下交差点を左折し、坂を上ります。

3 突き当りの交差点を右折します。

4 芝給水所公営管理事務所（3階建ての建物）付近の門を入ると、右手に災害時給水ステーションがあります。



認定「日本災害食」

備蓄倉庫の食材のコンビネーション

確かな食材の組み合わせで被災時のメニューを賄える体制



防災「定食」

非常時の大混乱であっても、復旧期は日常時に近い生活をしなければ長丁場は持たない



事業継続計画) における「食」対策

